

野洲市大篠原地域環境保全対策委員会 平成 28 年度第 2 回会議 会議結果

1. 開催日時 平成 28 年 9 月 14 日（水）14 時～16 時 40 分
2. 開催場所 野洲クリーンセンター 2 階 会議室
3. 出席委員 市川委員、山田委員、南委員、飯田委員、松下委員 以上 5 名
※欠席 岸本委員
4. オブザーバー 滋賀県南部環境事務所 松村所長
5. 事務局 白井環境経済部長、遠藤環境経済部次長、吉川環境課長、中井野洲クリーンセンター所長、同センター南井専門員、江口主査、四谷主査
以上 7 名
新野洲クリーンセンター建設工事請負業者 3 名
6. 傍聴者 2 名
7. 会議次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
(1) 新野洲クリーンセンターから排出したばいじん処理物に係る大阪湾広域臨海環境センター受入基準超過に対する対応(再発防止措置計画)について
4. その他
5. 閉会

8. 会議結果

議事（1）新野洲クリーンセンターから排出したばいじん処理物に係る大阪湾広域臨海環境センター受入基準超過に対する対応(再発防止措置計画)について

現在整備中の(新)野洲クリーンセンターで試運転中に発生したばいじん処理物の水銀またはその化合物が、搬出先の大阪湾広域臨海環境整備センターによる抜取検査で受入基準を超過し搬入停止となった問題について、経過及び原因の報告、そして再発防止措置計画案を説明させていただき、その内容について意見をいただきました。

○意見、質疑等（・各委員 →市事務局 ⇒建設業者）

- ・この第三者委員会は学識経験者 2 名以内の規定があり、専門家の両先生の意見があつて他の委員も安心して出席できるが、事情があると思うが 1 名欠席の状況で今回開催されたのはなぜか。
→市としては 9 月 2 日に自治会で調査のための稼動を認めていただき、早急に原因究明と対策を講じる必要があると考えており、調整はさせていただきましたが、都合がつかなかったため、揃っていただくのが本意ですが、本日開催させていただきました。
- ・原因究明を急ぐのは当然だが、改善措置計画に第三者委員会の意見を聞くということで、この会議での話し合いがベースとなるが、頼りになる専門家 2 名のうち 1 名欠席の中で開催するのは、地域では再試運転ありきではないかと意見がある。また、今晚自治委員会を開催して試運転の承認を依頼される予定だが、多くがサラリーマンで平日の夜に通常は会議は開催しないが、これも地域では再試運転ありきではないかと意見があるが。
→ご指摘のとおり、これまで 10 月 1 日を目標に工事を進めてきましたので根底にはありますが、かといって今回再試運転ありきということはありません。原因究明と対策を急ぎたいとの思いがあり、結果的に今回の開催となりました。
- ・この件に関して、自治会は報告や説明を受けたり、会議を開催したりと動いているが、市は 10 分、15 分程度の市長や部長との協議しかしていないと聞くが。
→事象が発生すれば、まず市長へ報告を行います。会議については、事象に対する検討会議は設置していませんが、庁議として部内会議、総合調整会議、部長会議で報告し情報共有しています。市長協議では SNT の調査結果報告と、本日の会議内容についても確認をいただきました。
- ・表 7 と 8 を根拠に添加率を 7 %にするのが良いと説明されたが、表では 3 %でも 7 %でも違いがないように思うが、あえて 7 %にする根拠は。3～5 %が業界の常識と聞

- いたが、あえて表で説明するのは無理があるのでは。
- ⇒基本は3%以上でないとは溶出するのが前提ですが、3%ですと余裕がないので1.25倍の約4%の基準を設定しました。また、他自治体の事例でキレートの種類を替え、かつ7%の添加で対応されたことも参考にして決定しました。
- ・この表からは4%までしか説明できないし、プラス3%の説明は難しい。安全を見てという部分しかない。
 - ・5%が基準で、原因が供給速度(Hz)のを変更したことにより添加率が変わったというのなら、その管理体制を厳格にすれば5%の添加率で十分なのでは。
 - ・機械の設計が5%で、なぜ設計どおりにしないのか疑問がある。他の設定を適正にすれば5%でいけるのではないか。
⇒水銀の含有率が高い状況で、確実に基準値以下にする実績やデータがないため、キレートの種類を替え添加率を7%にした他自治体の事例を参考にした部分があります。
 - ・人為的ミスと説明すれば、委員の意見にもあるように3~5%にするというので良い。さらに7%にするのには、原灰の水銀が高いということがなければ、安全を見込んでというのは分かるが説明できない。人為的ミスだけではなく、水銀の含有のことも書かないと。
⇒5%でも良いというのは、仰るとおりですが、それなりに高い水銀が含まれており、当社では実績データがないことから、他施設で7%の添加率で安定したという実績があったので、それに頼っています。現状では当社の知見が足りません。
 - ・他施設の平均よりも水銀の含有量が高いから添加率を7%にするということだが、他の水銀が高い施設の添加率は調べているのか。
⇒A施設は7%です。B施設は不明です。
 - ・そのような説明をするなら調べておくべき。
 - ・委員長の意見を聞きたい。
 - ・二度とこのような事例を起こしたくないという思いから、安全をみて7%とする考えは理解できる。
⇒始めは高めに設定しておいて、運転再開後にデータを取って、今後見直しを図っていきたいと考えています。
 - ・安全第一で、自信を持って運転できる対策を立てて欲しい。人為ミスと手順の不備は分けて考えて欲しい。
 - ・全て人為的ミスが原因とするのはどうかと思う。ごみ質の変動も要因としてあったのではないか。
 - ・SNTは建設業者だが、長期包括の受託業者でもある。今の運転はどちらがやっているのか。
→試運転中であり、建設のSNTがやっており、長期包括の従事者は教育を受けているところです。
 - ・長期包括の業者選定の際には、技術的に優秀ということで契約され、安心してコストも抑えられるという説明だったが、こういうことを受けて、市はどこまで確認するのか。民間業者であれば、コスト削るのは当然の判断であり、適正な管理がされているか、市は責任を持って、監視してもらう必要がある。
→ご指摘のとおりです。モニタリングを強化し、建設業者から依頼を受けて確認するほか、抜き打ちでも行っていきます。
 - ・市がある程度は関与すべき。自治委員会で計画が妥当か判断するにあたり、当委員会の意見は計画に反映されるのか。
→反映させた上で自治委員会に提出させていただきます。
 - ・運転管理値の0.0015は、これまでの測定で近い値が出ており、厳しい値だと思うが、超過して運転に支障は出てこないか。

- ⇒添加率5%の設定を、安全を見て7%にすることで、ノズルの閉塞等で薬剤が出にくくなったとしても対応でき、十分にクリアできる自信を持っています。
- ・添加率の管理はどのようにするのか。
⇒中央操作室の監視画面にキレート剤の添加率と流量を表示し、常時監視できるようにします。
 - ・それも計画書に記載した方が良い。
⇒常時監視する旨記載します。
 - ・運転管理値を超過したときは、自治会への報告はあるのか。
→自治会へ報告させていただきます。
 - ・大阪湾から戻ってきた灰から証拠は出なかったということか。処理のプロセスでの不具合の可能性を解消すれば改善するということだが、証拠がなかったら成立しないのではないのか。
⇒水銀は出ませんでした。鉛が検出されており、薬剤が足りなかったことは確認できました。また、水銀の含有量は施設に残っていた原灰同様、他施設と比べて高い値でした。
 - ・再発防止措置計画（案）について、定量供給装置の設定が適切でなかったのではなく、設定を変更したのがいけなかったのではないのか。
→そのように修正します。併せて、先ほどご意見をいただいた事項として、一つ目に、予防対策として、超過時に自治会へ報告することと、再開前に市が確認することを追加させていただきます。二つ目に、監視対策として、市の監視を強化することとし、市の役割を明確に記載します。
 - ・基準値の1/3という運転管理値はきついハードルだと思うが、超えたときは停止するのか。また、再開の判断は市がするのか。
→運転管理値は、大阪湾の判定基準を超過しないための自主的なものと考えており、超過したときは市に報告の上、飛灰処理装置を停止して確認しますが、施設全体の停止は考えていません。再開の判断は、市が確認の上で行います。
⇒運転再開させていただいた後、2週間は毎日サンプリングを行い、7%の添加率での状態を確認させていただきます。10月以降も2週間程度は分析を行い、運転管理値との整合性を確認していきます。
 - ・22日には改善結果の報告を合同会議で受けるが、再発防止措置計画が本当に実行されたのか、第三者委員会で確認する必要がある。自治会でも、毎月1回モニタリングに入っているの、チェックリストに追加し、確認していきたい。
→計画の実行については、検証の必要があると考えています。データを揃えて、全委員出席の当委員会で、再検証を行っていただきたいと考えます。自治会のモニタリングの項目にも反映させていただきます。

その他

○意見、質疑等（・各委員 →市事務局）

- ・この件の市民への告知はできているか。
→大篠原自治会にはすぐ報告し、学区自治会長にも報告しました。大篠原自治会員には回覧でお知らせしました。マスコミと議会にも後日情報提供し、市民にはホームページで周知しました。ごみへの水銀混入について市民へ回覧する予定であり、その中でもお知らせする予定です。

以上